

地域 01 : 地域医療と健康

日時 : 4月25日(木) 6時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

1. 地域医療とはなにか説明できる。
2. 我が国の地域医療の現状と課題を説明できる。
3. 社会から求められる地域医療のイメージを説明できる。
4. 埼玉県地域医療の現状を説明できる。

キーワード :

ユニット :

少子高齢化、要介護者、地域医療、地域保健、コミュニティ、医療資源、持続可能な社会の構築、地域包括ケア、医療と介護の連携、地域医療介護確保法、地域完結型、医療圏、医療法

参考書 :

- ◆ 地域医療学入門 2019年 診断と治療社 p8-p11

予習 :

日頃からニュースや新聞から、地域医療に関する記事にふれ、関心を持つ。

キーワードについてその概要を Web 等を用いて調べ、ノートに整理しておく。(15分)

復習 :

シラバスの内容について 2~3行でまとめる (15分)

地域 02 : 健康の概念と医師の責務

日時 : 4月26日(金) 4時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

1. WHO の健康の定義について説明し、自分の意見を述べるができる。
2. 医師法第 1 条医師の責務について説明できる。
3. 一次予防、二次予防、三次予防の目的・対象について説明できる。
4. 医師のプロフェッショナリズムについて説明できる。
5. 病者役割を理解し人として患者を理解することの意味を説明できる。

キーワード :

社会福祉、社会保障、公衆衛生、医師法第 1 条、憲法第 25 条、健康の定義、医師の責務、保健指導、地域包括ケア、専門職連携、病者役割

参考書 :

- ◆ よくわかる医療社会学 中川輝彦・黒田浩一郎編著 ミネルヴァ書房 p6-p15

準備 :

キーワードについてその概要を Web 等を用いて調べ、ノートに整理しておく。(15分)

地域 03 : 埼玉県の地域医療の現状

日時 : 6月3日(月) 1時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター)

内容 :

コロナウイルス流行により、地域で求められる医療について動画教材の視聴を通して理解する。

1. 地域で求められる医療にはどのような内容があるのか説明できる。
2. 埼玉県の地域医療の現状と課題について説明できる。

キーワード：

ユニット：

埼玉県の医療、救急医療、周産期医療、精神科救急医療

備考：

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業(埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業：教育プログラム1) 内で実施。

予習：

(10分) 埼玉県のホームページで、キーワードを検索し、ノートにまとめておく。

復習：

(10分) シラバスの学修目標一つ一つに沿って200～300字で、自分の言葉で記述する。

地域04：埼玉県の在宅医療

日時：5月20日(月) 1時限

担当者：金田 光平(医学教育センター) 柴崎 智美(医学教育学) 井上 直子
(医学教育センター)

内容：

埼玉県の在宅医療の取り組みについて理解を深める。

1. 埼玉県の在宅医療の現状について説明できる。
2. 在宅医療に関わる医師に必要なことを説明できる。
3. ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について説明できる。

キーワード：

在宅医療、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)、緩和ケア、

教科書：

- ◆ 特に指定しない

参考書：

- ◆ 特に指定しない

準備：

シラバス記載内容について、予め調べ、考えてから講義に参加してください。(15分)

地域05：周産期医療の社会的側面について

日時：5月21日(火) 3時限

担当者：側島 久典(総セ 総合周産期母子医療センター新生児科) 柴崎 智美(医学教育学)

内容：

1. 周産期医療の現状について説明できる。
2. 周産期医療の社会的側面について説明できる。
3. 生命の誕生と母子のコミュニケーションのはじまりについて説明できる。

キーワード：

周産期医療、新生児、生命、母子手帳、低出生体重児、NICU、年間出生数、母子の愛着形成、心のケアを支える臨床心理士

教科書：

- ◆ 特に指定しない

参考書：

- ◆ 新生児学入門 第3版 医学書院(仁志田博司著)

準備：

自分の生まれた体重を知っていますか?自分の母子手帳などを見ることができたら参考になります。
(10分)

地域 06 : 群馬大学との共同学習 I

日時 : 5月22日(水) 4時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター)

内容 :

群馬大学教養科目「はじめて学ぶ地域医療」との合同授業

1. 「かしこく健康に生きる」群馬大学田村遵一名誉教授による講義を受講し、概要を説明できる。

キーワード :

ユニット :

健康

備考 :

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業(埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業 : 教育プログラム 1) 内で実施。

予習 :

(10分) キーワードの定義を調べ、自分にとって健康に生きるとはどのようなことか考えておく。

復習 :

(10分) 講義の内容をレポートにまとめ提出する。

地域 07 : 群馬大学との共同学習 I

日時 : 5月22日(水) 5時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター)

内容 :

同上

キーワード :

地域 08 : 群馬大学との共同学習 II

日時 : 5月29日(水) 4時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター) 齋木 実(国セ 地域医療科)

内容 :

群馬大学教養科目「はじめて学ぶ地域医療」との合同授業

1. 地域の医療機関でホスピス、緩和ケアに取り組む医師からエンドオブライフケアについての考え方を話していただく。
2. エンドオブライフケアの概念について説明できる。
3. エンドオブライフケアに関わる医師の役割について説明できる。
4. 全人的苦痛について説明できる。

キーワード :

ユニット :

緩和ケア、ホスピス、全人的苦痛

備考 :

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業(埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業 : 教育プログラム 1) 内で実施。

予習 :

(10分) キーワードの定義を調べておく。

復習：

(10分) 講義の内容をレポートにまとめ提出する。

地域 09：群馬大学との共同学習Ⅱ

日時：5月29日（水） 5時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター) 齋木 実(国セ 地域医療科)

内容：

同上

キーワード：

地域 10：医学を学ぶ

日時：6月18日（火） 5時限

担当者：江利川 毅(医療政策学) 金田 光平(医学教育センター)

内容：

まず、「学ぶ」ことについて考える。大学での学びはこれまでとは質的に異なることを知り、その上で、「医学を学ぶ」心構えについて講義を通して自らのあり方として考える。

1. 「医学を学ぶ」ということについて理解したことを説明できる。
2. 自らの医学生としての態度、行動にどのように生かすことができるか自分の意見を述べるができる。

キーワード：

医学、学習、医師の役割、適正な医療、治療的自己

教科書：

- ◆ 特に指定しない

参考書：

- ◆ 「病院で死ぬということ」(山崎章郎著 文春文庫)

準備：

できれば、「病院で死ぬということ」(山崎章郎著 文春文庫)を読んでおく。

「医学を学ぶ」ことについて、予め自らの意見を考えて参加してください。(10分)

地域 11：命の大切さを考える

日時：6月25日（火） 5時限

担当者：高橋 幸子(医療人育成支援センター)

内容：

命のつながり、出生前診断、不妊治療、特別養子縁組、児童虐待、避妊、デートDVを通して命の大切さを考える。

1. 命の意味を考えることができる。
2. DVの予防について考えることができる。
3. 確実な避妊方法について説明できる。

キーワード：

出生前診断、不妊治療、避妊、緊急避妊、特別養子縁組、児童虐待、DV(デートDV)

教科書：

- ◆ 特に指定しない

参考書：

- ◆ 特に指定しない

準備：

キーワードについてその概要を Web 等を用いて調べ、ノートに整理しておく。(15分)

地域 12：群馬大学との共同学習Ⅲ

日時：6月26日（水） 4時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター)

内容：

群馬大学教養科目「はじめて学ぶ地域医療」との合同授業

1. 「自分にとって地域、地域医療とは何か」との関連で、群馬と埼玉の地域について調べて発表する。

キーワード：

備考：

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業(埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業：教育プログラム1) 内で実施。

予習：

(30分) グループ毎に発表の準備を行う。

復習：

(10分) 発表を聞いて、学んだ事を記述する。

地域 13：群馬大学との共同学習Ⅲ

日時：6月26日（水） 5時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター)

内容：

同上

キーワード：

地域 14：ひとと関わること

日時：6月28日（金） 3時限

担当者：米岡 裕美(教養教育) 柴崎 智美(医学教育学)

内容：

1. 人の多様性と個別性について、具体例を用いて説明できる。
2. ケアの相互性について、具体例を用いて説明できる。
3. ケアの非対称性について、具体例を用いて説明できる。

キーワード：

人の多様性・個別性、ケアの双方向性、ケアの非対称性

教科書：

- ◆ 特に指定しない

参考書：

- ◆ 特に指定しない

準備：

【予習】自分がどのような人と関わって生きてきたのかを考えておく（5分）【復習】予習で考えた人との関わりが、ケアのどのような特徴を持っているかを分析する。

地域 15：ヒューマンケア 1(ケアの本質)

日時：6月28日（金） 4時限

担当者：新井 利民(立正大学) 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター)

内容：

1. ヒューマンケアの理念と行動のありかたを理解する。
2. ヒューマンケアを人に対する援助の基盤におく必要性を理解する。
3. ケアについて説明できる。
4. ヒューマンケアを構成するものについて説明できる。
5. ケアとキュアの相違について説明できる。

キーワード：

ケア、キュア、ヒューマンケア、ケアの本質、ミルトンメイヤロフ、アンブロワーズ・バレ、ケアの双方向性、ケアの非対称性

教科書：

◆ 保健・医療・福祉のための専門職連携教育プログラム 2019年6月 ミネルヴァ書房

参考書：

◆ 新しいIPWを学ぶー利用者地域とともに展開する保健医療福祉連携ー 埼玉県立大学編 中央法規出版

準備：

教科書を読む。(15分)

WebClassのヒューマンケア論第1巻を視聴してから参加してください。(60分)

地域 16：ヒューマンケア 2(連携と協働)

日時：6月28日（金） 5時限

担当者：新井 利民(立正大学) 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター)

内容：

1. 専門職連携の必要性について説明できる。
2. チームとして必要な要素について説明できる。
3. 専門職連携におけるヒューマンケアの意味を説明できる。

キーワード：

専門職連携、連携と協働、ヒューマンケア、

教科書：

◆ 保健・医療・福祉のための専門職連携教育プログラム 2019年6月 ミネルヴァ書房

参考書：

◆ 新しいIPWを学ぶー利用者地域とともに展開する保健医療福祉連携ー埼玉県立大学編 中央法規出版

準備：

教科書を読む。(15分)

WebClassのヒューマンケア論第1巻を視聴してから参加してください。(60分)

地域 17 : 群馬大学との共同学習Ⅳ

日時 : 7月3日(水) 4時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター)

内容 :

群馬大学教養科目「はじめて学ぶ地域医療」との合同授業

1. 「自分にとって地域、地域医療とは何か」との関連で、群馬と埼玉の地域について調べて発表する。

キーワード :

備考 :

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業(埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業 : 教育プログラム1) 内で実施。

予習 :

(30分) グループ毎に発表の準備を行う。

復習 :

(10分) 発表を聞いて、学んだ事を記述する。

地域 18 : 群馬大学との共同学習Ⅳ

日時 : 7月3日(水) 5時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター)

内容 :

同上

キーワード :

地域 19 : 緩和ケア 2(死生観)

日時 : 11月28日(木) 4時限

担当者 : 儀賀 理暁(総セ 呼吸器外科) 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

いのちを生きる一人の人間として以下に示すことを目標とします。

1. 死をめぐる社会状況を理解する。
2. 自分自身の死生観に目を向ける。

キーワード :

緩和ケア、死生観、死の判定、

教科書 :

◆ 特に指定しない

参考書 :

◆ 特に指定しない

備考 :

出来るだけ皆さんの意見を伺いながら講義を進めてゆく予定です。

準備 :

シラバス記載内容について予め自分の意見を考えて来て下さい。(15分)

地域 20 : 緩和ケア 1(当事者からのメッセージ)

日時 : 11月28日(木) 5時限

担当者 : 儀賀 理暁(総セ 呼吸器外科) 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

1. 病気を持った患者さんの痛みや思いを感じることができる。
2. 患者に寄り添うことの意味について自分の考えを述べることができる。

キーワード :

緩和ケア、個別性、具体性

教科書 :

- ◆ 特に指定しない

参考書 :

- ◆ 特に指定しない

準備 :

シラバス記載事項について事前に考えてから講義に参加してください。(15分)

地域 21 : 障害とともに 2

日時 : 12月6日(金) 4時限

担当者 : 新井 利民(立正大学) 金田 光平(医学教育センター)

内容 :

1. 「障害」「障害者」に関する自分の認識を説明できる。
2. 社会がどのように「障害」を見てきたかについて概観し、説明できる。

キーワード :

障害、世界人権宣言、ノーマライゼーション、国際障害者年、国連障害者の権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法、ICIDH、ICF、排除、隔離、統合、包摂、合理的配慮、社会的障壁、糸賀一雄

教科書 :

- ◆ 保健・医療・福祉のための専門職連携教育プログラム 2019年6月 ミネルヴァ書房

参考書 :

- ◆ 新しい IPW を学ぶー利用者地域とともに展開する保健医療福祉連携ー埼玉県立大学編 中央法規出版
- ◆ ソーシャルアクション！あなたが社会を変えよう！-はじめの一步を踏み出すための入門書- ミネルヴァ書房

準備 :

キーワードについて予め調べてから参加してください。(15分)

地域 22 : 障害とともに 3

日時 : 12月6日(金) 5時限

担当者 : 新井 利民(立正大学) 金田 光平(医学教育センター)

内容 :

1. 「障害」と「あなた」「地域住民」「社会」との関係性について説明できる。

キーワード :

地域住民、社会、社会資源、コミュニティ、合理的配慮、社会的障壁、偏見、

教科書 :

- ◆ 保健・医療・福祉のための専門職連携教育プログラム 2019年6月 ミネルヴァ書房

参考書：

- ◆ 新しい IPW を学ぶー利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携ー 埼玉県立大学編 中央法規出版
- ◆ ソーシャルアクション！あなたが社会を変えよう！-はじめの一步を踏み出すための入門書- ミネルヴァ書房

準備：

キーワードについて予め調べてから参加してください。(15分)

地域 23：将来地域で必要となる医療

日時：12月10日(火) 4時限

担当者：柴崎 智美(医学教育学) 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子
(医学教育センター)

内容：

将来地域で活躍する医師に必要な医療について、動画教材を通して学ぶ。

1. 将来地域で必要となる医療とは何か、説明できる。
2. がん医療、難病医療、ゲノム医療とは何か説明できる。

キーワード：

ユニット：

がん医療、難病医療、ゲノム医療

備考：

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業(埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成事業：教育プログラム1)内で実施。

予習：

(10分) キーワードについて、インターネットで調べてノートに記述しておく。

復習：

(10分) 学修目標に沿って、200~300字程度で自分の言葉でまとめておく。

地域 24：障害とともに1(発達障害のケア)

日時：1月10日(金) 3時限

担当者：鈴木 郁子(毛呂病院 光の家) 金田 光平(医学教育センター)

内容：

発達障害(自閉症、ADHD、発達性協調運動障がい、LD)を理解し、個性、特性尊重が、認め合う社会に近づけることになることに気がついてほしい。また、家族を家族にしていくための支援について考えたい。

1. 発達障害の心理行動の特徴について説明できる。
2. みんながそれぞれを認め合う社会とはどのような社会か説明できる。
3. 発達障害のあるひとを支援する際の心構えについて説明できる。
4. 家族支援の在り方について説明できる。

キーワード：

自閉症、ADHD、発達性協調運動障がい、LD、個性、特性尊重、ノーマライゼーション、インクルージョン、糸賀一雄、自己肯定感、

教科書：

- ◆ 特に指定しない

参考書：

- ◆ 特に指定しない

準備：

シラバス記載事項について予め調べ、考えて参加してください。(15分)

地域 25 : EBM と NBM

日時 : 1月21日(火) 2時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

1. EBM(Evidence Based Medicine)について説明できる。
2. NBM (Narrative Based Medicine)について説明できる。
3. EBM 実践の流れについて説明できる。

キーワード :

EBM, NBM, 定式化、社会構成主義、診療ガイドライン、一次資料、二次資料

準備 :

キーワードについてその概要を Web 等を用いて調べ、ノートに整理しておく。(15分)

地域 26 : 老いを見つめる

日時 : 1月21日(火) 3時限

担当者 : 柴崎 智美(医学教育学)

内容 :

1. 高齢者の身体的・心理的特徴について説明できる。
2. 社会との繋がりが高齢者に及ぼす影響について説明できる。
3. 高齢者医療に関わる医師の考え方(心構え)について説明できる。

キーワード :

社会参加、老化、廃用症候群、自立支援、ADL、IADL、長谷川式、高齢者総合機能評価、ICF、支援的態度

教科書 :

- ◆ 特に指定しない

参考書 :

- ◆ 特に指定しない

準備 :

シラバス記載事項について予め調べ、考えてから講義に参加してください。(15分)

地域 27 : まとめ(ユニット内テスト)

日時 : 1月27日(月) 1時限

担当者 : 金田 光平(医学教育センター) 井上 直子(医学教育センター) 柴崎 智美

(医学教育学) 米岡 裕美(教養教育)

内容 :

本ユニット内で学習した地域医療とチーム医療に関する基本的な知識と本ユニットが担当するマイルストーンの評価を行う。

1. 地域医療の現状と課題を概説できる。
2. 地域医療とチーム医療に関する基本的な知識や考え方について説明できる。

キーワード :

ユニット :

医師法第1条、憲法第25条、周産期医療、救急医療、苦痛、フレイル、健康の定義、廃用症候群、ADL、IADL、高齢者総合機能評価、ICF分類、EBM、NBM、タックマンモデル、基準病床数、緊急避妊、地域包括ケア、IPW、認知症高齢者、包摂、統合、互助、共助

予習 :

講義資料を用いて、重要な術語について理解してから参加してください。(60分)

復習：

実施後に公開されるテスト問題と講評をもとに、自分の理解度を確認してください。(15～30分)